



平成 29 年 8 月 24 日

中部ブロック南海トラフ地震防災対策推進連絡会

南海トラフ巨大地震に備え「南海トラフ防災訓練」を実施します！

～ 過去の教訓を踏まえ、防災・減災の活動を検証 ～

1. 概要

南海トラフ巨大地震等の広域かつ甚大な被害が予想される大規模災害に備え、中部圏の国、地方公共団体、ライフライン関係機関等による広域連携防災訓練を実施します。

訓練にあたっては、過去の教訓を踏まえ、TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)による被災自治体支援、被災地域への「緊急物資輸送」、「DMAT(災害派遣医療チーム)による医療活動」等について特に配慮し、迅速かつ的確な応急活動のための連携体制の確立、防災力の強化を図って参ります。

◆訓練のポイント

- ① 南海トラフ地震における各活動の連携を想定した**タイムライン**の検証
- ② **防災ヘリ、DiMAPS^{※1}**など情報通信ネットワークを活用した被災情報の収集、及び**地方自治体、防災関係機関、大学**等との情報伝達
- ③ 自衛隊、消防、警察、DMAT 等による人命救助と連携した**総合啓開(道路啓開、航路啓開、排水オペレーション)**の実施
- ④ 大規模な広域防災拠点である「**富士山静岡空港**」「**名古屋港**」を活用した「**医療活動**」「**物資輸送**」の広域連携の実施

※1…地震や風水害などの自然災害発生時に、いち早く現場から災害情報を収集して、地図上にわかりやすく表示することができる新しいシステムです。

2. 主催

中部ブロック南海トラフ地震防災対策推進連絡会 ^{※2}

※2…中部ブロック南海トラフ地震防災対策推進連絡会とは、内閣府、南海トラフ地震対策中部圏戦略会議、東海四県三市防災・危機管理に関する連絡会議、南海トラフ地震対策中部圏関係会議

3. 日時及び訓練会場 (別紙 1 参照)

平成 29 年 9 月 3 日 (日) 午前 9 時 00 分 から 午前 12 時 00 分まで

- | | | | |
|----------------|----------------|-------------|----------------|
| ○中部地方整備局災害対策本部 | : 午前 9 時 00 分～ | ○松蔭東排水機場 | : 午前 9 時 30 分～ |
| ○河川環境楽園 | : 午前 9 時 00 分～ | ○裾野市民文化センター | : 午前 8 時 30 分～ |
| ○名古屋港 | : 午前 9 時 30 分～ | | |

4. 事前説明会

報道関係者のみなさまに、演習に関する説明会を下記のとおり行います。

(日時): 平成29年8月31日(木) 13:30～14:30

(場所): 愛知県政記者クラブ発表室

5. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、愛知県政記者クラブ、岐阜県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、三重県政記者クラブ、三重第二県政記者クラブ、名古屋港記者クラブ、港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

6. 問い合わせ先

(訓練全体に関すること)

中部地方整備局 企画部 防災課 TEL 052-953-8357 (担当 竹内、野田)

FAX 052-953-8362

(名古屋港会場に関すること)

中部地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課

052-209-6328 (担当 堀池、松永)

調整中のものを含む

南海トラフ防災訓練 概要(案)

(各縣市、防災関係機関等における広域連携実動訓練) 概要

日時 : 平成29年9月3日(日)
想定地震 : 南海トラフ巨大地震
地震の規模 : マグニチュード9.0

南海トラフ地震の想定は、平成24年8月29日内閣府公表資料に基づく

中部地方整備局 災害対策本部

- 国土交通省本省
- 被災状況・対応状況に関する情報伝達
- 映像共有訓練(ヘリテレ情報の共有(受信・配信))
- リエゾン・TEC-FORCE派遣方法の確認
- 大規模な広域防災拠点機能の検証
- 道路啓開・航路啓開・排水オペレーション計画の検証・連携確認
- 関係機関との情報伝達訓練 など

大学・外部機関

- 関係機関との情報伝達訓練
- ・名古屋大学
- ・内閣府
- ・専門家
- ・国土地理院

現地訓練(道路啓開・排水オペレーション・航路啓開等)

縣市との連携

輸送機等による広域支援

その他機関との連携

岐阜県 (岐阜県庁)

- 映像共有訓練(TV会議)
- 中部地整リエゾン派遣
- ・パソコンからの伝達訓練

河川環境楽園 【広域進出拠点】

- 中部地整により広域支援本部の設置
- 広域支援部隊(排水作業班等)の集結・出動
- 北陸地整TEC隊の応援派遣
- 衛星通信を使用した映像配信

東名阪自動車道(NEXCO) → 木曾川堤防

- NEXCOとの協定に拠る河川管理者等の東名阪自動車道から木曾川堤防への資機材搬入

松蔭東排水機場

- TEC-FORCEによる排水オペレーション

三重県 (三重県庁)

- 映像共有訓練(TV会議)
- 中部地整リエゾン派遣
- ・パソコンからの伝達訓練

三重県(尾鷲方面)

- TEC-FORCE隊によるヘリからの被災調査
- 通信衛星を使用した映像配信

愛知県 (愛知県庁)

- 映像共有訓練(TV会議)
- 中部地整リエゾン派遣
- ・パソコンからの伝達訓練

長野県 (飯田市)

- 映像共有訓練(TV会議)
- 中部地整リエゾン派遣
- ・パソコンからの伝達訓練

小牧基地 → 富士山静岡空港 【大規模な広域防災拠点】

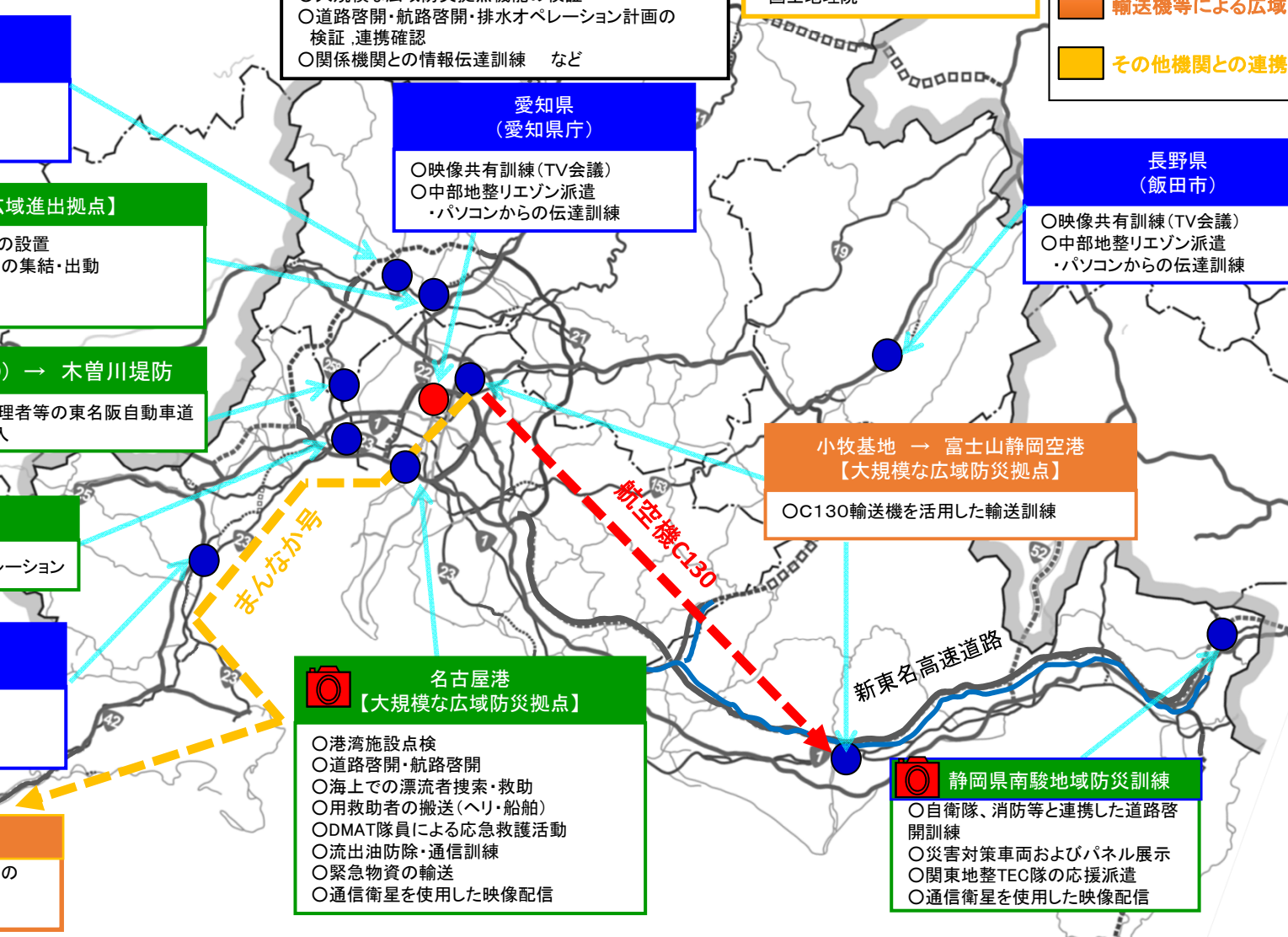
- C130輸送機を活用した輸送訓練

名古屋港 【大規模な広域防災拠点】

- 港湾施設点検
- 道路啓開・航路啓開
- 海上での漂流者捜索・救助
- 用救助者の搬送(ヘリ・船舶)
- ODMAT隊員による応急救護活動
- 流出油防除・通信訓練
- 緊急物資の輸送
- 通信衛星を使用した映像配信

静岡県南駿地域防災訓練

- 自衛隊、消防等と連携した道路啓開訓練
- 災害対策車両およびパネル展示
- 関東地整TEC隊の応援派遣
- 通信衛星を使用した映像配信



平成29年度 南海トラフ防災訓練

情報伝達訓練～TV会議～

(中部地方整備局 3F災害対策本部室 外)



【訓練概要】

南海トラフ巨大地震により甚大な被災が発生した、県市、各地の実働訓練会場、名古屋大学等とのテレビ会議を利用した**情報伝達訓練**を実施。

日 時:平成29年9月3日(日)9:00～12:00

訓練会場：中部地方整備局 3F災害対策本部室

(名古屋市中区三の丸二丁目5番地1号 名古屋合同庁舎2号館)

静岡県裾野市実働訓練会場

(静岡県裾野市深良435)

名古屋港ガーデンふ頭

(愛知県名古屋市港区港町地先)

河川環境楽園西口駐車場

(岐阜県各務原市川島笠田町木曾三川公園三派川地区)

松蔭東排水機場付近

(三重県桑名市長島町浦安)

【訓練内容】

各関係機関と連携し、実働情報伝達訓練を実施

○中部地方整備局により、関係自治体・大学にリエゾンを派遣し、衛星回線や光ファイバ網等を使用し、テレビ会議装置を設置

○関係自治体・大学とテレビ会議による情報伝達

○実働している排水作業班、道路啓開班、航路啓開など、現地テックフォース隊員による状況報告

【テレビ会議】



【主な伝達内容】

時刻	訓練内容	訓練会場		
9:15	国土交通本省との情報伝達			
9:18				
9:54	防災ヘリコプターからの被災状況報告	名古屋市～尾鷲市		
10:25				
11:10				
9:50	漂流者救助報告 航路啓開状況報告 緊急物資輸送報告	名古屋港（ガーデンふ頭）		
10:41				
11:00				
10:02	バイク隊現地調査状況報告 道路啓開状況報告	裾野市実働訓練会場		
10:31				
10:05	広域支援本部設置状況報告 広域支援本部集結状況報告	河川環境楽園		
10:45				
10:16	災害対策本部長（局長）と県、市との情報伝達訓練	愛知県庁 岐阜県庁 三重県庁 裾野市 飯田市		
10:19				
10:22				
11:18				
11:26				
10:49			大学との「連携・協力に関する協定」に基づく、情報伝達訓練	名古屋大学
10:58			輸送機C130-Hによる人員物資輸送報告	富士山静岡空港
11:02	高速道路から堤防への資材搬入報告 松陰東排水機場 排水ポンプ車設置、排水状況報告	松陰東排水機場・木曾川堤防		

* 各会場と中部地方整備局災害対策本部室との間で行います。

【中部地方整備局(三の丸)へのアクセス】



【所在地】

〒460-8514
名古屋市中区三の丸2丁目5番1号
(名古屋合同庁舎第2号館)

【名古屋駅からのアクセス】

地下鉄桜通線(今池・野並方面)に乗り、「久屋大通」駅で地下鉄名城線(市役所・大曾根方面)に乗り換え、「市役所」で下車。5番出口を出て、歩いて1分。

平成29年度 南海トラフ防災訓練

広域防災拠点運用訓練（名古屋港会場）



【訓練概要】

南海トラフ巨大地震・津波により甚大な被害を受けた名古屋港において、15の防災関係機関が連携し、以下の情報伝達訓練及び実働訓練を実施する。

- ・DMAT隊員と医療物資の輸送
- ・DMAT隊員による応急救護活動
- ・岸壁の被災状況調査（海上・陸上・海面下）
- ・臨港道路啓開
- ・漂流者の捜索・救助
- ・流出油防除
- ・航路啓開（漂流物）
- ・緊急物資の輸送（海上・陸上）

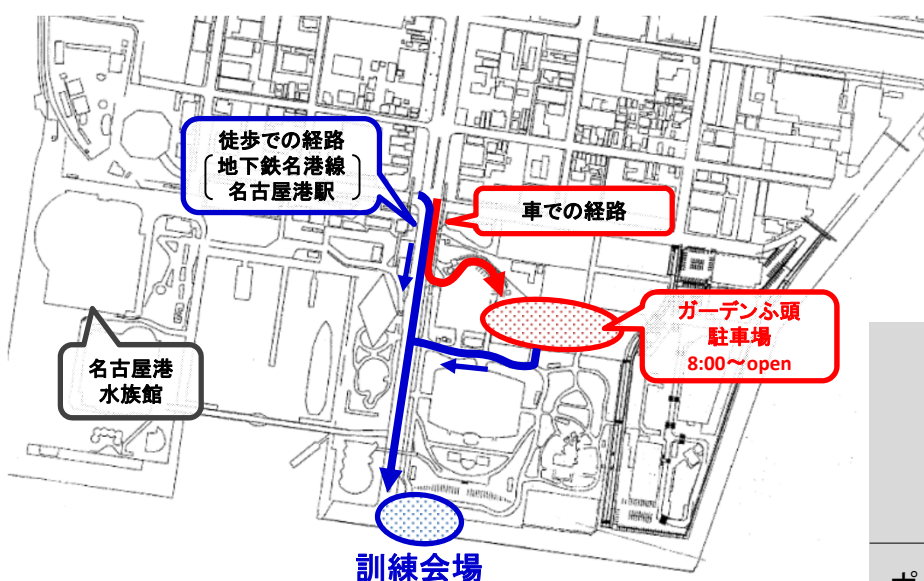
日 時：平成29年9月3日（日）9：30～11：00

訓練会場：名古屋港ガーデンふ頭（愛知県名古屋市港区港町地先）

【訓練の流れ(予定)】

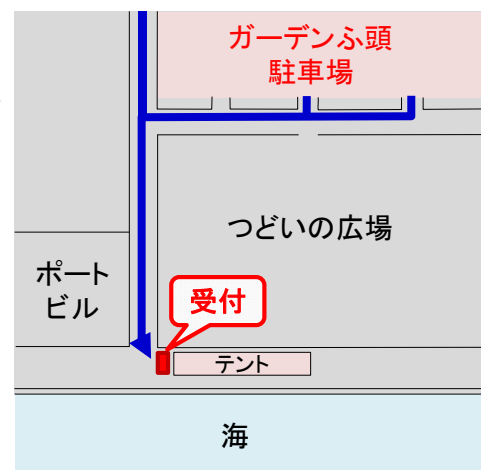
時刻	訓練項目	訓練内容	想定場所	参加機関
09:30	開会式			
	漂流者捜索・救助 (ヘリコプター)	・ヘリコプターによる漂流者の捜索・救助	名古屋港内及び港外	・名古屋海上保安部
	漂流者捜索・救助 (船舶)	・船舶による漂流者の捜索・救助	名古屋港内及び港外	・名古屋海上保安部 ・名古屋市消防局
	DMAT隊員と医療物資の輸送 及び応急救護活動	・船舶によるDMAT隊員と医療物資の海上輸送 ・DMAT隊員による応急救護活動	潮凧ふ頭岸壁 稲永公園	・中部地方整備局 名古屋港湾事務所 ・中部ブロックDMAT連絡協議会
	燃料タンク消火	・船舶によるタンク火災の消火活動	南浜ふ頭海域	・名古屋海上保安部 ・名古屋市消防局
	流出油拡散	・船舶による流出油拡散	南浜ふ頭海域	・名古屋海上保安部 ・名古屋市消防局 ・中部地方整備局 名古屋港湾事務所
	岸壁の被災状況調査	・被災岸壁の緊急点検(海上・陸上・海面下)	潮凧ふ頭岸壁	・中部地方整備局 名古屋港湾事務所 ・名古屋港管理組合 ・(一社)海洋調査協会 ・(一社)港湾技術コンサルタンツ協会 ・(一社)日本潜水協会 ・NPO法人中部みなと防災ネット
	航路啓開 (漂流物の揚収)	・船舶による漂流物(ガレキ・流木等)の揚収	名古屋港内及び名古屋 港に接続する緊急確保 航路	・中部地方整備局 名古屋港湾事務所 ・名古屋清港会
	臨港道路啓開	・臨港道路の障害物撤去作業	潮凧ふ頭岸壁に接続す る臨港道路	・名古屋港建設災害防止協会
	緊急物資の輸送	・船舶による緊急物資の海上輸送 ・トラックによる緊急物資の陸上輸送	潮凧ふ頭岸壁	・中部運輸局 ・(一社)愛知県トラック協会 ・東海内航海運組合 ・名古屋港運協会
11:00	閉会式			

【会場位置図】



※お車をご利用の方へ
 訓練会場に駐車場はございません。
 ガーデンふ頭駐車場(有料)をご利用下さい。

【受付位置図】



平成29年度 南海トラフ防災訓練

道路啓開訓練

(裾野市訓練会場)



写真：平成29年度狩野川連合総合水防演習・広域連携防災訓練

【訓練概要】

南海トラフ巨大地震の発生により、静岡県内の広い範囲で震度5～7の揺れを観測、間もなくして沿岸部に大津波が襲来した。

この地震により、建物の倒壊、土砂災害、火災等の大きな被害した裾野市災害対策本部より、TEC-FORCEの派遣要請があり、バイク隊及び道路パトロールカーによる被災状況調査を行ったあと、建設業協会による道路啓開、米軍海兵隊及び消防による救出・救助訓練を行うものである。

「道路啓開」とは、大規模災害により瓦礫等で道路が通行できなくなるので、応急復旧を実施する前に救援ルートを確保する必要がある。

そこで、緊急車両等が通行できるようにするため、最低1車線でも通行できるように早急に人命救助及び瓦礫処理を行うものである。

日 時：平成29年9月3日(日)8:30～12:00

訓練会場：裾野市民文化センター駐車場

【道路啓開・救出救助訓練の内容】

6機関が参加し実働訓練を実施

- 裾野市災害対策本部よりテックフォースの派遣要請を受け、バイク隊及び道路パトロールカーによる被災状況調査を開始。
- 倒木による道路閉塞箇所の先に、バイク隊による被災状況調査により、倒壊家屋及び事故車両内の要救助者を発見し、裾野市災害対策本部へ報告。
- 裾野市災害対策本部から裾野市建設業協会へ道路閉塞箇所の倒木除去、米軍海兵隊及び消防に倒壊家屋及び事故車両内の救出救助を要請。

【訓練の流れ(予定)】

時刻	訓練項目	訓練内容
8:30	地震発生	
9:00	チェンソー取扱訓練	自衛隊及び消防団によるチェンソー取扱訓練
10:00	裾野市災害対策本部より TEC-FORCE派遣要請	バイク隊及び道路パトロールカーにて被災状況調査開始
10:05	TEC-FORCE隊による被災状況 調査	倒木により道路パトロールカーが進入できない先をバイク隊が被災状況調査
10:10	TEC-FORCE隊からの裾野市災 害対策本部へ被災状況報告	裾野市災害対策本部から裾野市建設業協会へ倒木除去、米軍海兵隊及び消防に倒壊家屋 及び事故車両からの救出救助を要請
10:15	倒木除去開始	裾野市建設業協会が倒木除去開始
10:55	倒木除去完了	裾野市建設業協会の倒木除去完了
10:55	救出救助開始	被害状況確認後、米軍海兵隊が事故車両、消防が倒壊家屋の救出救助
11:40	救出救助完了	米軍海兵隊及び消防の救出救助完了
12:00	閉会式	閉会式

【道路啓開訓練の内容】

国土交通省沼津河川国道事務所、陸上自衛隊第34普通科連隊、米海兵隊太平洋基地消防本部キャンプ富士、富士山南東消防本部裾野消防署、裾野市、裾野市建設業協会、裾野市消防団が参加し、道路啓開訓練を実施

【道路啓開訓練の流れ】 ※写真はイメージ

①被災状況調査(バイク隊、道路パトロールカー)



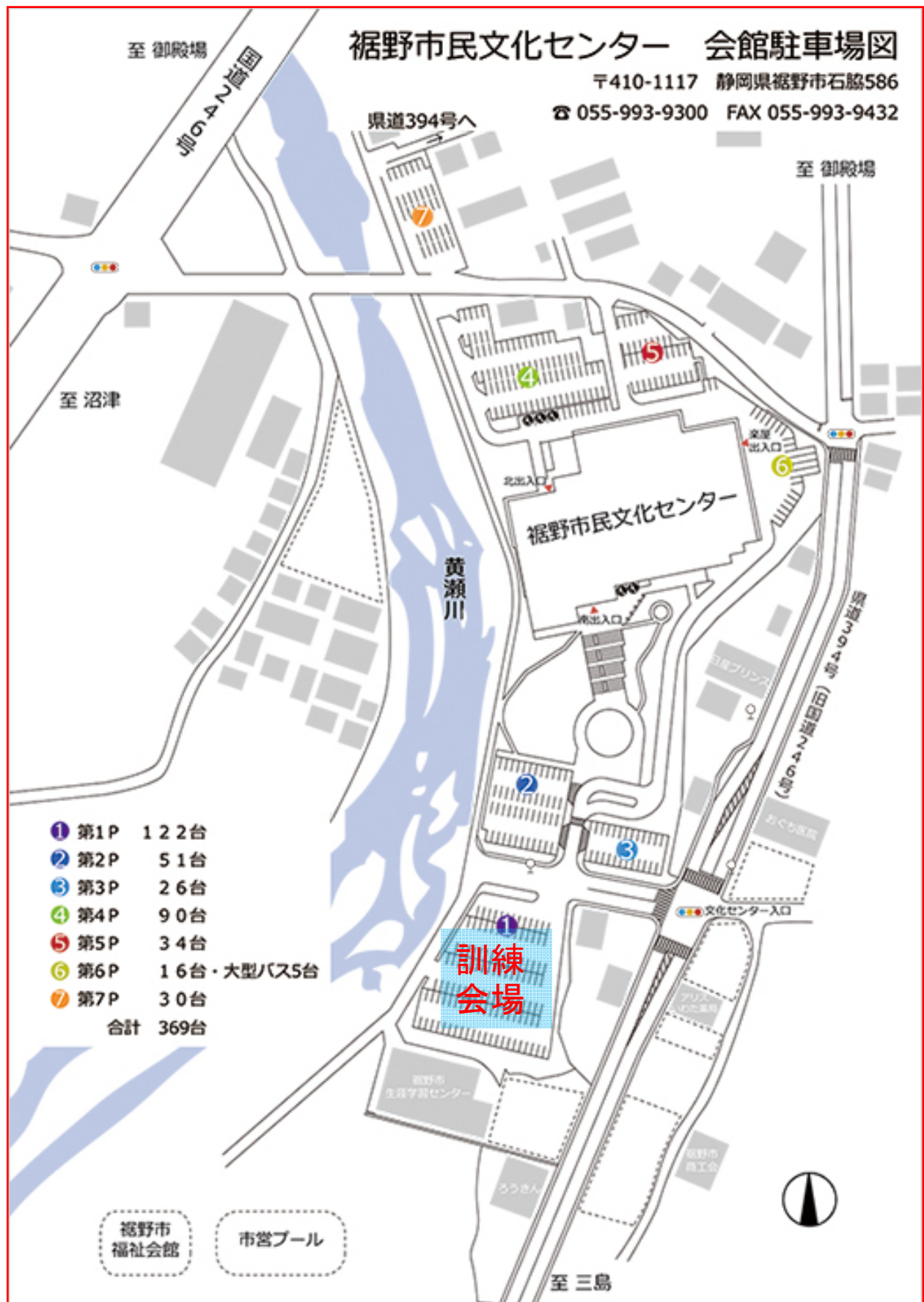
②消防・自衛隊による人命救助



③道路啓開



裾野市訓練会場アクセス



平成29年度 南海トラフ防災訓練

(中部ブロック南海トラフ地震防災対策推進連絡会広域連携防災訓練)

広域支援本部設置訓練 (河川環境楽園会場)



【訓練概要】

南海トラフ巨大地震により甚大な被災が発生した中部地方沿岸部の救援、災害対策のため、後方支援の要となる拠点を国営木曾三川公園三派川地区・河川環境楽園と笠松町勤労青少年運動場に設置し、救援物資の輸送、濃尾平野の排水作業、道路啓開などにあたる人員・車両・資機材が集結し、被災地に向けて出動する。

広い集結スペースを有し、地震に強い高速道路ネットワークと接続する当地での広域支援本部設置訓練を、参加11機関の連携のもと実施する。

日 時：平成29年9月3日（日） 9：00～12：00（予定）

訓練会場：河川環境楽園西口駐車場

(岐阜県各務原市川島笠田町木曾三川公園三派川地区)

笠松町勤労青少年運動場 (岐阜県羽島郡笠松町無動寺堤外)

【広域支援本部設置訓練の内容】

11機関が参加し実働訓練を実施

- 中部地方整備局災害対策本部指示により広域支援本部を設置
- 被災地の救援、災害対策に出動する人員・車両・資機材が広域支援本部に集結
- 被災地に向け排水作業班、道路啓開班、救援物資搬送班が出動
- 中部地整災害対策本部への通信による状況報告

【支援車両】



【訓練の流れ(予定)】

時刻	訓練項目	訓練内容
9:30	開会式	訓練想定、概要説明
9:45	広域支援本部設置	広域支援本部設置指示、広域支援本部設置
9:50	TEC-FORCE中部排水作業班集結	排水作業を行うため、河川パトロールカー、排水ポンプ車、照明車が広域支援本部に集結
10:00	TEC-FORCE北陸集結	北陸地方整備局からTEC-FORCE隊員が被災地への出動に向け広域支援本部に集結
10:10	救援物資輸送班集結	救援物資輸送トラックが広域支援本部に集結
10:20	TEC-FORCE中部道路啓開班集結	重機、大型散水車、人員輸送車等が広域支援本部に集結
10:50	出動指示	整備局本部から出動指示
10:50	広域支援本部 本部会議 出動ルート説明	出動に向け、被災情報・道路情報を収集 出動ルート確認
11:05	出動 (通信による状況報告)	広域支援本部本部長の指示により被災地に向け出発 (出動状況を整備局本部に画像伝送)
11:30	閉会式	閉会式

【参加予定機関と出動予定車両(予定)】

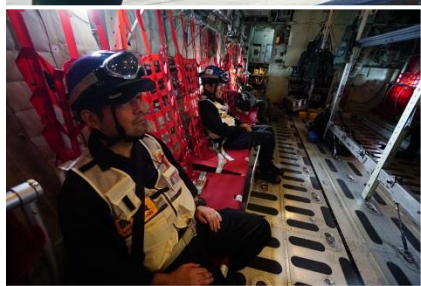
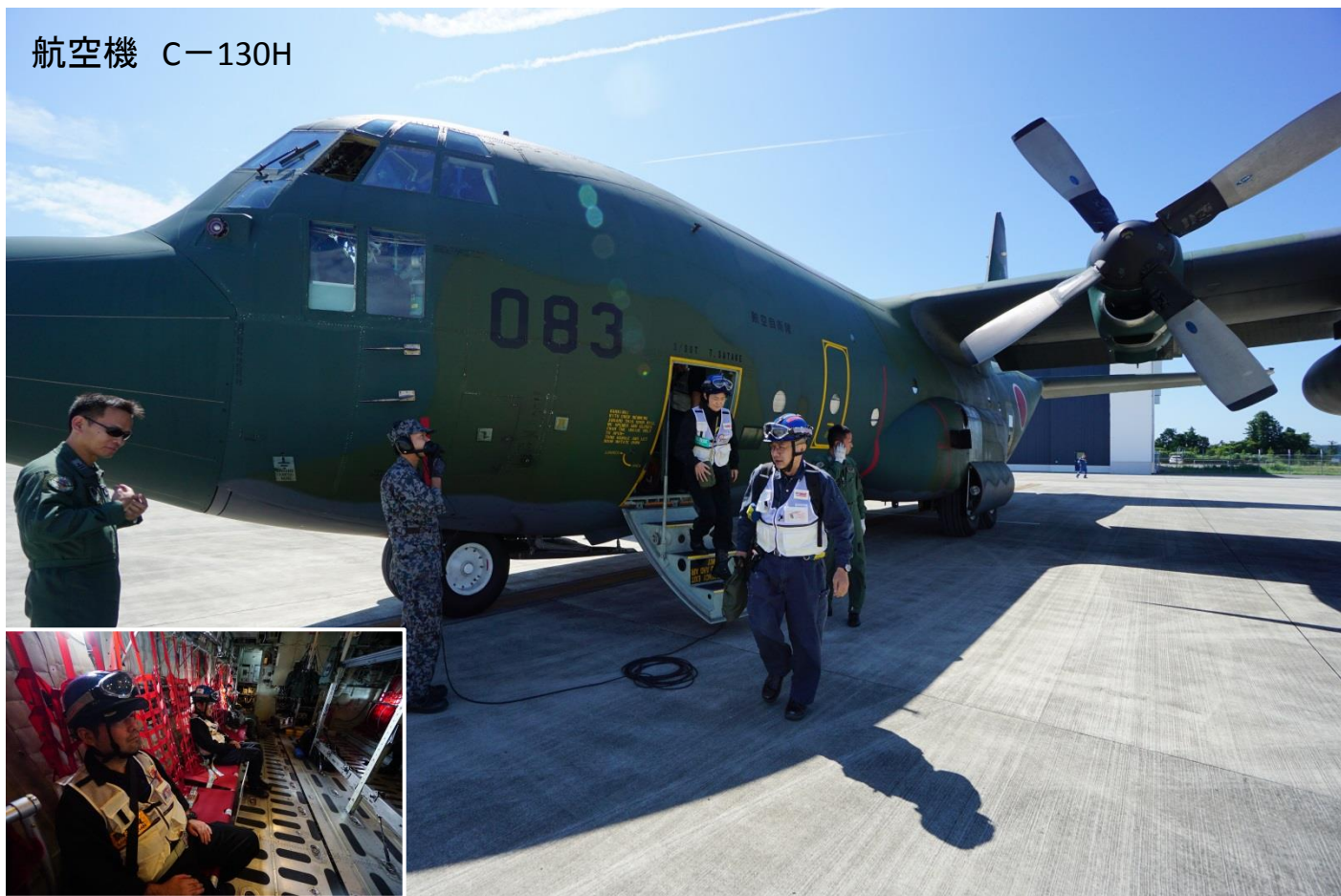
参加機関	車両等
中部地方整備局	(本部員派遣)
木曽川上流河川事務所	河川パトロールカー 排水ポンプ車 照明車 対策本部車
天竜川上流河川事務所	対策本部車
北陸地方整備局	(TEC-FORCE隊員派遣)
中日本高速道路(株) 名古屋支社	道路巡回車 大型散水車

参加機関	車両等
(一社)岐阜県建設業協会	人員搬送車 バックホウ、重機運搬車
(一社)日本建設業連合会中部支部	人員搬送車
(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会中部支部	人員搬送車
(一社)日本道路建設業協会中部支部	バックホウ、重機運搬車 4tユニック、緊急用給水タンク
(一社)岐阜県トラック協会	10tトラック 2台
(一社)中部地域づくり協会	(防災エキスパート派遣)

平成29年度 南海トラフ防災訓練

航空自衛隊と連携した航空機C130による車両・人員輸送訓練
(航空自衛隊小牧基地から富士山静岡空港へ)

航空機 C-130H



【訓練概要】

南海トラフ巨大地震により甚大な被害が発生した中部地方沿岸部において、救援及び災害対策のため、広域防災拠点である富士山静岡空港へ車両・人員が進出する訓練を実施、衛星通信車による映像伝送を行う。

航空自衛隊との連携により、航空機C-130Hによる、車両・人員の輸送訓練を行う。

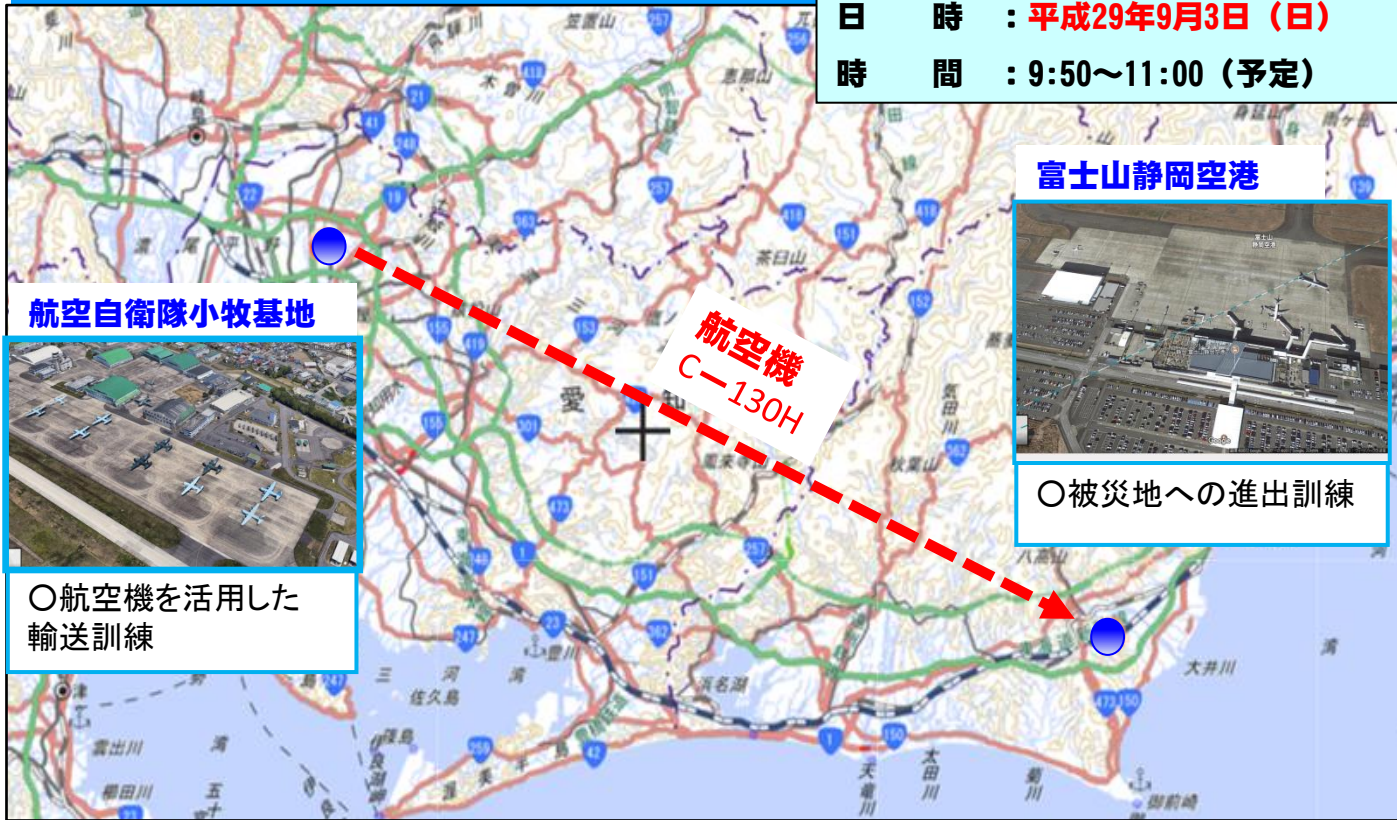
日 時:平成29年9月3日(日)9:50~11:00(予定)

訓練会場: 【出発】 航空自衛隊小牧基地
【到着】 富士山静岡空港

- | | |
|---------------|-------|
| •基地入場、車両・人員搬入 | 9:50 |
| •離陸 | 10:20 |
| •着陸 | 10:50 |
| •衛星通信車による映像伝送 | 11:00 |

航空機C-130Hによる輸送訓練 広域図

日時：平成29年9月3日（日）
時間：9:50～11:00（予定）

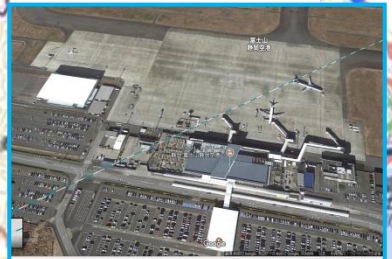


航空自衛隊小牧基地



○航空機を活用した輸送訓練

富士山静岡空港



○被災地への進出訓練

【TEC-FORCE隊員の搭乗】



TEC-FORCE
（緊急災害対策派遣隊）

被災した地方公共団体等の災害対応を支援。大規模自然災害等において、いち早く被災地へ向かいます。

災害対策車両

国が保有する災害対策車両を派遣し、被災地の応急対策を支援します。

【パトロールカーの輸送】



【衛星を使用した映像伝送】



衛星通信車—Ku-SAT

災害に強い通信衛星を利用して被災現場と対策本部を結び、映像・音声を提供します。

平成29年度 南海トラフ防災訓練

濃尾平野排水訓練
(桑名市長島町松蔭東排水機場 木曾川右岸)



【訓練概要】

南海トラフ巨大地震と大津波により濃尾平野の河川・海岸堤防が数カ所で決壊し、浸水被害が発生したと想定。中部地方整備局災害対策本部は、浸水域での高所避難者救助や行方不明者搜索のため、決壊した堤防の仮締切と排水を指示。

桑名市(長島町)の浸水域を対象に、「濃尾平野の排水計画」に基づき、松蔭東排水機場付近での排水を想定した実働訓練を実施する。

日 時:平成29年9月3日(日)9:30~11:40

濃尾平野排水訓練

- 排水ポンプ車等設営 9:15~10:45
- 排水訓練 10:45~11:40 (予定)
- 排水ポンプ車等撤収 11:40~12:00

訓練会場: [排水訓練] 三重県桑名市長島町浦安 (松蔭東排水機場付近)

【排水ポンプ車による排水訓練 配置図】



会場へのアクセス方法 お車をご利用下さい。

- 一般道利用:
国道23号の長島町福吉から県道7号線へ
- 高速道路利用:
伊勢湾岸自動車道の湾岸長島ICから県道7号線へ